

りくふう

## 陸封アユ生態調査・学習会の実施

～<sup>かな</sup>神流湖・<sup>かな</sup>神流川の自然を地元高校生と守り育む～

独立行政法人<sup>みずしげんきこうしものくぼ</sup>水資源機構下久保ダム管理所では、<sup>かななかわ</sup>神流川ビジョン推進協議会、<sup>まんば</sup>群馬県立万場高等学校及び群馬県水産試験場等と協同で、陸封アユ生態調査及び学習会を下記のとおり実施します。

### 記

- 日 時：平成24年7月6日（金）9時00分～
- 場 所：群馬県多野郡<sup>かななまちかしわぎ</sup>神流町柏木 <sup>かしわぎさほうえんてい</sup>柏木砂防堰堤付近（<sup>おおより</sup>大寄公園）
- 調査内容：魚の採捕、魚種の判定、魚体の測定（長さ、重さの計測）

※取材をされる方は、9：00までに、群馬県立<sup>まんば</sup>万場高等学校にお越し下さい。



平成24年6月29日

独立行政法人水資源機構 下久保ダム管理所

#### 配布先

熊谷記者クラブ  
藤岡記者クラブ

#### 問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 下久保ダム管理所  
所長代理（総務） 鈴木 <sup>おさみ</sup>修身  
TEL 0274-52-2746

<参考資料>

## － 陸封アユ生態調査 －

下久保ダム管理所では、神流川ビジョン推進協議会（注1）の活動の一環として、平成17年度より神流湖<sup>かんなこ</sup>の陸封アユ生態調査を行っていますが、今年度は以下のとおり実施します。

調査は、神流川水源地ビジョン推進協議会、群馬県立万場<sup>まんば</sup>高等学校と群馬県水産試験場と協同で行ない、万場高校（水産コース）の生徒に、魚の採捕、魚種の判定、魚体測定（長さ、重さの計測）を行い、群馬県水産試験場の方に魚種の判定、指導をしていただきます。

下久保ダム貯水池である神流湖は、陸封アユ<sup>りくふう</sup>（注2）の日本最北限の生息地として知られており、神流湖と神流川本川上流でふ化、成長、産卵を繰り返していることが確認されています。

### 1. 実施日時

平成24年7月6日（金）9：00～12：00

〈中止の判断：7月5日（木）15時00分〉

予備日：平成24年7月13日（金）

### 2. 学習会・調査時間

学習会 9：00～9：30（群馬県立万場高等学校で実施）

調査時間 10：00～11：40

### 3. 学習会・調査場所

群馬県多野郡神流町<sup>しょうり</sup>生利 群馬県立万場高等学校（学習会会場）

群馬県神流町柏木 柏木砂防堰堤付近（大寄公園）（調査場所）

### （注1）神流川ビジョン推進協議会

下久保ダムを活かして、豊かな自然環境の保全や水源地域の活性化を目指し、平成14年に下久保ダム水源地域ビジョン推進協議会として設立。その後、水源地域のみならず神流川沿川全体を包括した取組みとすべく平成18年11月に神流川ビジョン推進協議会と改称し、河川管理者や水源地域の行政及び沿川の住民や団体で組織されたもの。ダムを活かした水源地域の自立的・継続的な活性化を目的に清掃活動、上下流交流会、陸封アユ調査、ヤマメの放流などの活動を行っている。

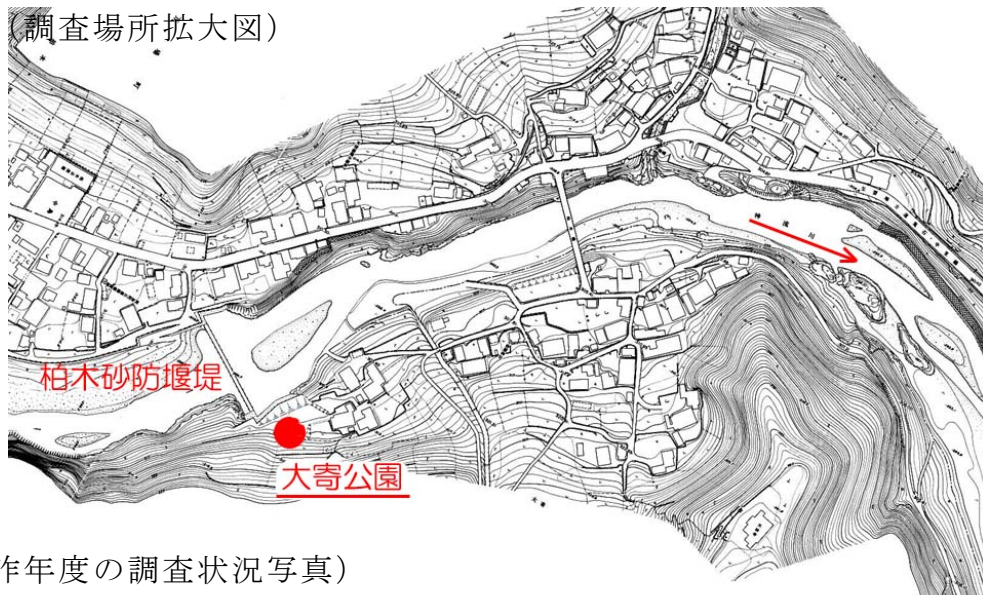
### （注2）陸封アユ

アユは河川でふ化後、海へ降りて沿岸域で冬季を過ごした後、春以降、再び川を遡上するものが普通であるが、陸封アユは湖を海の代わりとして過ごし、海には降りずに河川や湖の中で一生を過ごすものをいう。

(位置図)



(調査場所拡大図)



(昨年度の調査状況写真)

